

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		5-	1	
事業名	男女共同参画事業		会計	款	項	目
			一般	2	1	6
施策	6 語らいのあるまち		課名	町民課		
	6-3 人権を尊重するまちをつくる		係名	町民活動係		
	6-3-2 男女共同参画社会の実現					
主要施策	①男女共同参画に向けての意識づくり		③自立した生き方づくり			

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民、町内団体、学校、事業所など	目的 (対象がどのような状態になっているか)	女性と男性が互いに人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる社会、いわゆる「男女共同参画社会」を実現させる。
事業内容	男女共同参画事務…第3次東員町男女共同参画プランに掲げられた4つの基本目標を推進し、それぞれの目標における2022年までの数値目標の達成を目指す。平成30年度は男女共同参画条例の制定を目指す、条例策定委員会の開催、男女共同参画推進委員会でのプランの進捗管理を行いつつ、講座や映画等の啓発活動についても従前どおり実施していく。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
指標	1	男女共同参画啓発回数	5	5	4	回	→	5	
	2	審議会などにおける女性委員の比率	28.6	28.9	29.5	%	↑	30	
	3	講演会や研修会の開催回数	4	4	2	回	→	1	
	4								
	5								
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					313		2,369		
財源内訳	直接事業費 A					313		323	
	うち一般財源					313		114	
人件費(千円) B					0		2,046		
内訳	一般職員(人・千円)					0		0.31	
	臨時職員(人・千円)					0		0	

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	未だ男女ともに、夫々の役割についての固定観念が存在することが散見され、また、女性の側に社会への参画を躊躇う傾向があり、この意識を改めることが課題である。
②H30年度に実施した取り組み	町内の有識者、公募委員も含めた「男女共同参画推進条例(仮称)策定委員会」を設置し、条例を制定した。また、連携映画祭、男女共同参画講座を開催したほか、啓発活動も随時行った。	④今後の改善計画	平成29年度に策定した向こう5年間の「第3次東員町男女共同参画プラン」に基づき、事業を着実に進めていかなければならない。